

令和4年度 事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

I. 青少年活動

日本の将来を担い未来を築く青少年が、健康な身体を養い豊かな感性と高い徳性を磨き、有為な青年に成長することを目的に、基本理念である“愛と汗の精神”に基づいた自然体験・社会奉仕体験を中心とした青少年健全育成活動の充実を図る。愛と汗の実践活動として、フィリピン・ゴミ山などの貧困の中で暮らす子どもたちへの支援活動や震災などの被災者に対する支援活動を継続して展開した。

1. 子ども自然体験活動

“愛と汗の精神”に基づいた子ども自然体験キャンプを全国的に開催し、大自然の中で障害児を含む異年齢の仲間とともに野営による共同生活をとおして、様々な課題や困難を乗り越え、自主性、協調性、感受性等を育てるなど、次代を担う青少年の心豊かな人格形成を図ることを目的に開催した。

※キャンプ事業の開催準備をしていたが、新型コロナウイルス第7波の急拡大のため4会場以外は中止とした。

(1) 夏期子ども自然体験キャンプ

〈別表-1〉

ア. 「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 7月 <2泊3日>

開催数 1会場（道南）

スタッフ等 18名

参加者 31名（内、障害児2名）

※桜原湖畔、瀬戸内海、鹿児島、沖縄は新型コロナウイルスの影響により中止

イ. 伊勢青少年研修センター主催「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援》

期 間 8月 <各3泊4日>

開催数 2会場（愛知、関西）

スタッフ等 67名

参加者 130名

※富士山は新型コロナウイルスの影響により中止

ウ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <3泊4日>

開催数 1会場（いばらき）

スタッフ等 15名

参加者 56名

※新型コロナウイルスの影響により、友愛は9月に自主開催、北部九州は中止

エ. キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成活動》

No.	キャンプ名	実施日	スタッフ
1	桧原湖畔	6月 2日(木)～ 3日(金)	谷野渉
2	道南ふれあい	6月 6日(月)～ 8日(水)	志村和也・中野淳一
3	いばらき	6月11日(土)	増田航介
4	瀬戸内海	6月22日(水)～24日(金)	板倉和也・増田航介
5	沖 縄	7月 1日(金)～ 3日(日)	板倉和也

※3は一般会計より支出

オ. 印刷物の作成《子どもゆめ基金助成活動》

①「子ども自然体験キャンプ」リーフレットの作成

部 数 23,000部

体 裁 A4版6頁、4色刷り

(2) 「子どもわくわく自然体験キャンプ(招待)」

《子どもゆめ基金助成活動/文部科学省後援》

開催日 8月10日(水)～12日(金) <2泊3日>

開催地 ばんだいふれあいぴあ

※新型コロナウイルスの影響により中止

(3) 冬期子ども自然体験キャンプ

ア. 子ども自然体験スキーキャンプ

《第1回》

開催日 12月26日(月)～30日(金) <4泊5日>

開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び裏磐梯スキー場)

指導者 高橋源一郎(SAJスキー指導員)

炊事員 小長谷貴子、近藤節子、佐藤由佳

スタッフ 板倉和也、谷野渉、増田航介

参加者数 38名<リーダー13名、キャンパー25名>

※子ども自然体験スキーキャンプリーダー研修会

開催日 12月24日(土)～26日(月) <2泊3日>

スタッフ 板倉和也、谷野渉

参加者数 11名

《第2回》

開催日 令和5年3月26日(日)～30日(木) <4泊5日>

開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び猫魔スキー場)

指導者 高橋源一郎(SAJスキー指導員)

炊事員 小長谷貴子、近藤節子、佐藤由佳

スタッフ 板倉和也、谷野渉、増田航介

参加者数 40名<リーダー15名、キャンパー25名>

※子ども自然体験スキーキャンプリーダー研修会

開催日 令和5年3月24日(金)～26日(日) <2泊3日>

スタッフ 板倉和也、谷野渉

参加者数 12名

イ. 報告書の作成

部 数 200部
体 裁 A4版、46頁、カラー

(4) 子どもWAKU×2ひろば《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-2〉

自然体験活動や社会奉仕体験活動を実践している高校生・大学生等の青年リーダーが集い、専門家や実践者を講師に招き、さまざまな体験活動やその展開方法についての学習をするとともに、新たな視点に立って展開する週末体験活動を模索し実践活動を行った。

ア. WAKU×2ボランティアリーダー研修会

開催数 12会場 <各1日～1泊2日間>
(※うち、1会場は子どもゆめ基金対象外)

指導者等 18名
参加者 133名

イ. 子どもWAKU×2ひろば

開催数 7会場 <各1日～1泊2日間>
指導者等 110名 (講師7名、リーダー103名)
参加者 236名

(5) 夏期少年少女合宿講習会 (各地青年会議所等共催) 会場：伊勢青少年研修センター

期 日	共催団体名・事業名	参加者数
7月21日(木)～23日(土)	一般財団法人日本教育再生機構大阪茨木支部 寺子屋伊勢合宿	※
7月25日(月)～27日(水)	一般社団法人伊勢青年会議所 「第50回伊勢少年少女合宿講習会」	※
7月29日(金)～31日(日)	一般社団法人岸和田青年会議所 「第31回岸和田少年少女サマースクール」	33名
(日程決定前に中止決定)	檀原ジュニアサマースクール	※
合 計	1回	33名

※新型コロナウイルスの影響により3回が中止

(6) 第24回40kmナイトウォーク親子の集い

開催日 9月10日(土)～11日(日)〈2日〉
対 象 小学3年生以上の子どもと大人
※新型コロナウイルスの影響により中止

2. 子どもボランティア推進活動

“愛と汗の精神”に根ざした様々なボランティア活動を実践することにより、人のため、社会のために行動することの素晴らしさや真の喜びを体感する。お互いに理解し合い、分かち合い、豊かな感性を磨き、思いやる心や心豊かな人格形成に寄与する活動を行った。

(1) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援》

地域・学校（生徒会・ボランティア部）、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介した。ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状を理解することにより、ボランティア精神を涵養し、他者への思いやり、命の大切さ、親や周りの人への感謝など、青少年の豊かな心を育むことを目的に開催した。

ア. 幸せの種まきキャンペーン「出前講座・課外授業」

〈別表-3〉

開催数 24会場
派遣講師 48名（山口千恵子、谷野渉、増田航介）
参加者 2,178名

イ. パンフレットの作成・配布

部数 5,000部
体裁 A4版、8頁、4色刷
配布先 5,000ヶ所

(2) 青年ボランティアゼミナール

〈別表-4〉

期間 9月～令和5年3月 <各回とも19:30～21:00>
開催数 6回
会場 オンライン開催（Zoom）、SYD会議室（オンラインを含む）
講師 各1名（国内外のボランティア経験者等に委嘱）
参加者 116名

3. SYD指導者の養成

自然体験や社会奉仕体験などのさまざまな実践活動を行い、自ら活動の楽しみや喜びを体得するとともに、子どもたちを安全に導きながら体験活動を積極的に推進するための知識や技能を修得し、“愛と汗の精神”を日常的に実践するSYD指導者の養成に努めた。

(1) 全国青年アカデミーキャンプ in 福島【新規】

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

全国から集った中高大学生等の青少年が異年齢の仲間とともに大自然の中でキャンプ（共同生活）を実施。自然の素晴らしさや厳しさを感じながら、自然体験活動を積極的に推進するための知識や技能を習得するとともに、国連が定めるSDGs（持続可能な開発目標）に添った学びの場やテーマについての協議を行う中で、他者を思いやる心や積極的に汗を流せる自主性、コミュニケーション能力などの次代を担う青少年の心豊かな人格形成を図った。

《第1回》

期日 7月26日(火)～30日(土) <4泊5日>
会場 ばんだいふれあいぴあ
講師 3名 毛利大介：ビジネスヴォイストレーナー(株)VoiceCrew 代表取締役
多賀元紀：北塩原村消防署職員
高橋源一郎：福島県山岳遭難救助隊員
スタッフ 5名（岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介）
参加者 17名（全国の中学生及び高校生等）

《第2回》

期 日 令和5年3月31日(金)～4月4日(火) <4泊5日>
会 場 ばんだいふれあいぴあ
講 師 4名 高橋源一郎：SAJ スキー指導員
鈴木幸：SAJ スキー指導員
震災遺構中浜小学校語り部ガイド2名
スタッフ 5名 (岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介)
参加者 22名 (全国の中学生及び高校生等)

※指導者養成事業報告書の作成

部 数 400部
体 裁 A4版

(2) ボランティア・アクション【新規】

No.	開催地	実施日	会場名	講師スタッフ	参加者
1	福島県	2月4日(土) ～5日(日)	福島県喜多方市山都町	板倉和也 谷野渉	13名
2	広島県	2月25日(土) ～26日(日)	広島市似島臨海少年自然の家	板倉和也	25名
3	香川県	3月11日(土) ～12日(日)	小豆島ふるさと村キャンプ場	板倉和也	27名
合 計				4名	65名

(3) SYD指導者資格認定制度

※新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの事業が行えなかったため、制度の運用を図ることができなかった

4. 青年組織育成活動

(1) 青少年活動(キャンプ)担当者会議

期 日 5月3日(火・祝)～5月5日(木・祝) <2泊3日>
会 場 ばんだいふれあいぴあ
講 師 毛利大介(ビジネスヴォイストレーナー(株)VoiceCrew 代表取締役)
臨 席 三瓶利正(修養団福島県連合会事務局長)
スタッフ 真下淳一、板倉和也、谷野渉、増田航介
参加者 8名(各地キャンプ担当者)

(2) 青少年活動(キャンプ)担当者オンライン会議

No.	実施日	会場名	スタッフ	出席者
1	4月23日(土)	Zoomにて開催	山口千恵子、市島寿里、板倉和也、 谷野渉、増田航介	8名
2	6月13日(月)	Zoomにて開催	市島寿里、板倉和也、谷野渉、増田航介	8名
合 計			9名	16名

(3) 指導者の派遣と青年組織活動への助成

※新型コロナウイルスの影響により事業を開催できなかったため、指導者の派遣、組織活動への助成はなかった

5. 関係機関・団体との協力

〈別表-5〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議出席するなどの活動を行った。

II. 国際交流活動

1. 貧困と共に生きる子どもたちの支援活動 (サポーティングプログラム)

※新型コロナウイルスの影響により (1) は中止、それに伴い(2) (3) も中止

(1) 青年ボランティア・アクションinフィリピン 《文部科学省後援》

期 日 8月23日(火)～29日(月) <6泊7日>

訪問地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)

(2) 「青年ボランティア・アクションinフィリピン」報告書の作成・配布

(3) 「青年ボランティア・アクションinフィリピン」支援バックの作成作業

2. ブラジルとの指導者交流事業

※新型コロナウイルスの影響により(1)、(2)中止

(1) ブラジル指導者の招聘

ア. ブラジル青年リーダーの招聘

期 日 8月上旬～9月上旬 <28日間>

主な日程 本部研修、伊勢研修、ぼんだいふれあいぴあ研修、都内視察ほか

イ. ブラジル修養団講師の招聘

期 日 令和5年2月上旬～下旬 <21日間>

主な日程 本部研修、伊勢研修、ぼんだいふれあいぴあ研修、都内視察ほか

(2) ブラジルへの指導者派遣

期 日 令和5年1月上旬～2月中旬 <約40日間>

派遣先 ブラジル(サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ他)

主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

※指導者派遣は行われなかったが、ブラジル連合会では下記の講習会を開催した。

期 日	講習・講演会名	参加者	スタッフ リーダー	計
1/ 7～ 8	モジ・ダス・クルーゼス少年少女講習会	9 1	6 3	1 5 4
1/14～15	スザノ少年少女講習会	9 6	5 2	1 4 8
1/21～22	マウア・ダ・セーハ少年少女講習会	4 2	2 9	7 1
1/24～25	アサイ少年少女講習会	6 6	3 3	9 9
2/ 4～ 5	マリンガ修養林間学校	7 3	5 0	1 2 3
2/11～12	リーダー研修会	3 4	1	3 5
合 計		4 0 2	2 2 8	6 3 0

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

(1) みがく講習会 (定例講習会)

〈別表-6〉

開催数 4回 <各3泊4日>

参加者 83名

対象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

※9回予定していたが新型コロナウイルスの影響により5回中止

(2) みがく特別講習会

〈別表-6〉

開催数 7回 <各1泊2日>

参加者 413名 (平均59名、定員各80名)

※計画では6回を予定していたが、1回開催を追加した

(3) 特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期 日 A：初穂曳コース：10月15日(土)～17日(月) <2泊3日>

B：神嘗祭コース：10月16日(日)～17日(月) <1泊2日>

参加者 A：53名 B：8名 計61名

対象 一般社会人

※初穂曳、夜間奉拝は神宮の都合により中止となった

イ. 初詣新春の集い

期 日 令和5年1月7日(土)～8日(日) <1泊2日>

※新型コロナウイルスの影響により中止

ウ. 内宮古殿地清掃奉仕の集い【新規】

※4回の開催を予定していたが新型コロナウイルスの影響により中止

(4) 受託講習会

〈別表-7〉

開催数 16回

参加者 790名

※計画では13回の予定であったが、3回開催を追加した

(5) 一般講習会

〈別表-8〉

開催数 15回

参加者 441名

(6) 講師派遣 (講演・講習活動)

〈別表-9〉

開催数 71回

参加者 5,703名

2. 関東・東北地区等講習会

(1) 新入社員セミナー

※新型コロナウイルスの影響により中止

期 日 4月12日(水)～14日(金) <2泊3日>
会 場 猪苗代観光ホテル(福島県猪苗代町)

(2) リフレッシュセミナー

期 日 令和5年2月15日(水)～17日(金) <2泊3日>
会 場 LAKE SIDE HOTEL みなとや(福島県猪苗代町)
講 師 鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也、板倉和也
参 加 者 13名(男性12名・女性1名)

3. 受託セミナー

〈別表-10〉

(1) パート社員セミナー

ア. 1日コース
開催数 12回
参加者 773名

(2) 新入社員セミナー

ア. 1日コース
開催数 2回(他1回中止)
参加者 174名

イ. 2日(1泊2日)コース
開催数 1回(他2回中止)
参加者 9名

ウ. 2泊3日コース
開催数 2回(他1回中止)
参加者 56名

(3) 一般社員セミナー等

ア. 1日コース
開催数 1回
参加者 37名

(4) 講演会

開催数 2回
参加者 220名

4. 企業・組織訪問

講演会・講習会の参加者募集や実施及び団運動の拡大を目的として企業・組織を訪問した。

期 日	訪問地域	訪問社数	訪問者
9月 5日(月) ～8日(木)	京都・北陸・新潟地区 (京都府・福井県・富山県・新潟県)	10社 +2組織	保坂、志村
	1回	10社 +2組織	

【集計表】連合会・クラブ、企業・団体等「主催講習会・講演会」〈別表-11〉

(1) 講習会

開催数 48回
参加者 2,261名

(2) 講演会

開催数 64回
参加者 5,864名

IV. 家庭教育活動

1. 家庭《共育》セミナー

親子や家族のあり方、高齢社会での世代間交流など、身近な課題に取り組むとともに、楽しい子育て、幸せな家庭、生き生きとした地域社会の実現に向けた講座・ワークショップを企画した。

本年度は新型コロナウイルス感染が続く中、Z o o mを活用したオンライン講座を実施し、参加者を広く募集し、修養団活動、特に家庭教育活動の拡大を図った。

(1) 「Z o o mでオンライン家庭《共育》ひろば」

開催日	講師	演題	参加者数
6月12日(日)	小川けんいち氏 (イラストレーター)	「感情をこめて線を描こう」	41名
12月18日(日)	ミナクシミよこ氏 (日本キッズヨガ協会代表理事)	「誰でも楽しめるキッズヨガ」	26名
2回			67名

V. 会員・組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員及び会員組織と連携を図るとともに、諸団体にも呼びかけ、「愛と汗」を基本に下記事業を展開し、心ひとつにして「幸せの種まき運動」の推進を図った。

(1) Z o o mでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会

今年度は修養団本部の講師が自らの体験を基にした講演をおこなった。終了後は「みんな育てる講演会」を目指し、参加者各位と講師がともに近況報告や情報交換、今後の希望などを共有し合う場を設定した。

また、今年度は本団講師のほか、修養団に関わる運動実践者を講師として招聘し、活動者目線からの講話を取り入れることにより修養団運動活性化を狙いとして実施した。

開催日	講師	演題	参加者数
5月28日(土)	谷野渉 (講師補・青年部)	「自分らしさを愛する」	27名
7月24日(日)	三瓶利正 (修養団福島県連合会事務局長)	「修養団と私 ～二つの苦難の克服～」	43名
9月4日(日)	志村和也 (講師・社会教育部主任)	「みんながいるから輝ける ～響き合う世界へ～」	30名
10月28日(金)	増田航介 (講師研修生・青年部)	「人は皆、先生 ～たくさんの出会いが 教えてくれたこと～」	28名
2月26日(日)	保坂正志 (講師・社会教育部部長)	「いきいき生きる 『かきこけこ』」	12名
3月26日(日)	牧野理香 (キャリアカウンセラー)	「いつも命に向き合って ～祖父が照らしてくれた修 養団への道～」	延期
5回			140名

※3月26日は、講師（牧野理香）の体調不良により延期

(2) 第14回「チャリティー演芸会」～笑顔でひとときの巻～

－ストリートチルドレン支援－

会場内ではマスク着用を呼びかけ実施したが、昨年以上のご来場をいただき、大爆笑に包まれたひとときとなった。

また昨年同様、会場への参加を見送った方に「心の参加者」として広く募金のご協力を呼びかけたところ、9件・150,000円の献金が寄せられた。

期 日 6月24日(金) 18時30分～20時20分

会 場 SYDホール

出演者 蝶花楼桃花、立川らく次、春風亭一左、立川らく人

来場者 67名

係 員 8名(職員・ボランティア)

※収益金119,934円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(3) 「幸せの種まき祭り」－ストリートチルドレン・災害被災者支援－

昨年に引き続き「チャリティーバザー」のみ実施とし、新型コロナウイルス感染予防の対策を取りながら全国の連合会・クラブ、企業等から提供された特産品や衣類のほか、北海道や埼玉県の会員からご提供いただいた野菜などを販売した。

期 日 11月12日(土) 12時～14時

会 場 SYDビル1階広場、2階ホール

参加者 約200名(近隣住民および会員など)

※収益金406,086円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(4) 第6回「東京ベルズ」ハッピーヴォイスチャリティーコンサート

－ストリートチルドレン支援－

NPO法人「東京ベルズ」のメンバーによるチャリティーコンサートがおこなわれた。会場の収容人数制限、新型コロナウイルス感染防止の対策を講じながら、今年度はコロナ禍前と同じ2時間の構成で実施。東京ベルズによるアカペラコーラス中心のプログラムに加え、少年少女合唱団 STELLA&Ensemble LUCE が賛助出演した。

また、特別企画「フィリピンのゴミ山で暮らす子どもたちの今」と題し、SYD職員および青年リーダーが映像を交えて講演した。

昨年同様、会場への参加ができない方に「心の参加者」として広く募金のご協力を呼びかけたところ、29件・248,000円の献金が寄せられた。

後日、ご寄付をいただいた方に対して、当日の動画を配信した。

期 日 12月3日(土) 13時～15時

会 場 SYDホール

来場者 68名

出演者 高牧康、御幸りか、花岡るみ、古谷万理子、白瀬恵、松本久志、古葉映、ラジアン円

少年少女合唱団STELLA&Ensemble LUCE

※収益金639,036円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

2. 会員組織活動への支援など

(1) 第11回「全国修養団運動推進会議」の開催

日頃より修養団運動を推進している主なクラブ・連合会の代表者や今後の活動が期待できる方を対象として、3年ぶりに対面で開催した。本年度より2月11日の修養団創立記念日に合わせて開催し、「SYDボランティア奨励賞贈呈式」、「令和4年度修養団功労者表彰贈呈式」を推進会議の一環として実施した。

期 日 令和5年2月11日(土・祝)～12日(日)

会 場 SYDホール

出席者 48名

(2) 講師・役職員の派遣

- | | | |
|--------|--|--------------|
| 6月10日 | 修養団愛汗喜多方「令和4年度理事会・総会」
14名(喜多方市・厚生会館) | 【保坂】 |
| 6月25日 | 修養団愛汗郡山「第17回定例総会・理事会」
9名(郡山市・ベルヴィ郡山館) | 【保坂】 |
| 7月12日 | 修養団福島県連合会「令和4年度理事会・通常総会」
22名(郡山市・㈱ヨークベニマル本社) | 【山崎主幹、根岸、保坂】 |
| 10月22日 | 修養団岐阜県連合会青年部ともしび会
～23日 「友愛キャンプ文集作成・振り返り(反省会)」
17名(大垣市・大村公民館) | 【志村】 |

(3) 活動助成金の支出

クラブ・連合会の活動の拡充と活性化を図ることを目的とし、修養団のクラブ・連合会がおこなう活動に助成金3万円を交付した。

1. 修養団伊勢いなほの会「研心遠足」(9月4日・岐阜県中津川市/参加者21名)

3. 会員状況と会員組織

諸事業において、資料に見本誌を配布した。また、「日々の力」や図書を発送する際に見本誌を同封するなど、会員拡大を図るとともに、クラブ・連合会を通じて加入促進をお願いした。

本団主催の講習会受講者には、事後学習の一助にと1年間にわたり「向上」誌を送り、発送終了の時期には講習会受講時の感想文とともに、継続購読を勧めた。

その結果、多人数ではないものの継続購読の申し込みがあった。

(1) 会員の現状

〈別表-12〉

会員種別	当年度(R5. 3. 31現在)	前年度(R4. 3. 31現在)	増減
ふれあい会員	14	13	1
愛会員	238	325	△87
向上会員	1,033	910	123
永生会員	10,728	10,728	0
合計	12,013	11,976	37

(2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(R5. 3. 31現在)	前年度(R4. 3. 31現在)	増減
法人会員	96	96	0
個人会員	130	132	△2
合計	226	228	△2

VI. 幸せの種まき献金活動

1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動をおこなった。

(単位：円)

	4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月計金額	102,128	129,912	264,202	158,692	128,435	556,035	
《一般献金》	52,128	95,912	230,202	105,626	28,435	91,160	
《指定献金》	50,000	34,000	34,000	53,066	100,000	464,875	
指定 献金 内訳 フリリピン	東日本大震災被災者支援	0	0	0	10,000	0	
	トルコ・シリア大地震被災者支援	0	0	0	0	0	
	子ども学資支援	36,000	0	0	36,000	36,000	126,000
	大学生学資支援	0	20,000	0	3,066	0	290,100
	学校支援	14,000	14,000	34,000	14,000	54,000	48,775

	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	
月計金額	193,179	371,763	807,041	386,674	465,404	1,888,566	
《一般献金》	33,179	168,263	402,342	116,008	60,729	1,260,561	
《指定献金》	160,000	203,500	404,699	270,666	404,675	628,005	
指定 献金 内訳 フリリピン	東日本大震災被災者支援	0	0	0	0	0	
	トルコ・シリア大地震被災者支援	0	0	0	0	250,675	508,505
	子ども学資支援	36,000	54,000	126,000	144,000	108,000	54,000
	大学生学資支援	90,000	0	0	38,666	18,000	0
	学校支援	34,000	149,500	278,699	88,000	28,000	65,500

		今年度合計		前年度合計		
年間合計金額		5,452,031	(290 件)	5,173,449	(244 件)	
《一般献金》		2,644,545	(137 件)			
《指定献金》		2,807,486	(153 件)			
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	10,000	(1 件)			
	トルコ・シリア大地震被災者支援	759,180	(64 件)			
	フィリピン	子ども学資支援	756,000	(37 件)		
		大学生学資支援	459,832	(12 件)		
		学校支援	822,474	(39 件)		

※心の参加者（一般献金）…チャリティー演芸会 150,000 円（9 件）
 …東京ベルズコンサート 248,000 円（29 件）

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子ども37名と大学生5名の学資支援及び子どもたちが学ぶ学校への支援をしたほか、パンガラップラーニングスクールの施設修繕・整備に対して、またロシアの侵攻に伴うウクライナからの避難民受け入れを行っているモルドバ共和国に対して支援を行った。

〈ストリートチルドレン支援〉

(※=全て指定献金/ **=一部指定献金)

- ・フィリピン： ストリートチルドレン(給食支援) 560,000 円
- ・フィリピン： 子ども(幼稚園～高校生)学資支援(スカベンジャー・37名) 666,000 円※
- ・フィリピン： 大学生学資支援(スカベンジャー・5名) 900,000 円**
- ・フィリピン： 「パンガラップ・ラーニング・スクール」
(学校運営支援・12万円×12ヵ月) 1,440,000 円**
- ・フィリピン： スカベンジャーの
子どもたちへのクリスマスプレゼント(チョコレート) 26,000 円**
- ・フィリピン： 「パンガラップ・ラーニング・スクール」修繕支援 2,000,000 円

〈戦争避難民支援〉

- ・モルドバ： ウクライナからの戦争避難民受け入れに対する支援
(モルドバ共和国大使館に持参) 300,000 円

合 計 5,892,000 円
 前年度合計 3,686,660 円

3. 幸せの種まき献金委員会

(1) 幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的開催し、活動の充実・推進について協議した。

- 令和4年 4月4日、5月10日、6月14日、7月6日、9月1日、
 10月11日、11月8日、12月12日
 令和5年 1月17日、2月3日、3月13日

(2) 報告書の作成・配布

令和3年度活動報告書(1,000部)を発行し、クラブ・連合会、募金して下さった方々などに送付した。

公益3

VII. 出版・広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

(1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	2,300	挑戦する
5月号	1,800	人の優しさ
6月号	2,100	心を整える
7月号	2,200	つながっている
8月号	1,900	力になった体験
9月号	2,000	大きな心
10月号	2,200	コツコツ努力
11月号	1,800	想像する力
12月号	2,000	思いを届ける
1月号	2,300	自分を磨く
2月号	2,200	心を澄ます
3月号	2,000	生きる喜び
合計	24,800部	(前年度22,400部)

(2) 「愛」

号	発行部数	備考
4月号	900	
5月号	900	
6月号	1,000	
7月号	1,200	ふれあい特集号
8月号	900	
9月号	1,000	
10月号	900	
11月号	800	ふれあい特集号
12月号	1,000	
1月号	900	
2月号	1,200	
3月号	1,000	ふれあい特集号
合計	11,700部	(前年度12,600部)

2. 令和5年版「日々の力」の制作・販売

(1) 制作

題名	「今日も前進」
作者	〈絵と文字〉小川けんいち（イラストレーター・グラフィックデザイナー）
内容	明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけ、実行したいことを31日分の言葉にまとめ、文字と絵を添えて制作した。
体裁	日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り
印刷部数	13,000部(宣伝用含む)

第1回納品－8月9日、第2回納品－9月12日

(2) 販売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区分	件数	部数
SYDオリジナル	96	2,303
無地	37	320
注文名入れ印刷	40	7,525
合計	173件	10,148部
前年度合計	182件	10,968部

※ 9月7日～8日

修養団新潟県連合会、修養団上越の協力を得て上越地区5社、中越地区3社を販売促進活動で訪問【保坂、志村】

3. 教育図書 の普及、教材 の販売

『蓮沼門三の言葉110』、『人生のことば365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各900～1,000部(2頁～4頁)を発行し(NO.162～172)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「webかわらばん」で紹介した。

5. 広報活動

(1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

公益4・収益1

VIII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-13〉

(1) 利用状況

ア. 主催講習会(クリスマス会を含む)

回数 14回(前年度11回)

利用者数 634名(前年度324名)

イ. 受託講習会（夏期少年少女合宿講習会を含む、愛知サマースクールを除く）

回数 16回（前年度12回）

利用者数 789名（前年度427名）

ウ. 一般研修会

回数 14回（前年度6回）

利用者数 441名（前年度141名）

※ア+イ+ウ=44回、1,864名（前年度29回、890名）

2. ばんだいふれあいびあ

(1) 利用状況

〈別表-14〉

利用回数 19回（前年度10回）

利用者数 353名（前年度113名）

延べ利用者数 1,102名（前年度455名）

(2) 施設整備等

※コロナの影響で約2年施設を使用していなかったため整備・修繕を行った。

ア. 事業準備・片付け等整備

①夏期事業事前準備

期日 7月15日(金)～18日(月・祝) <3泊4日>

スタッフ 3名(板倉和也、谷野渉、増田航介)

②夏期事業後片付け

期日 9月15日(木)～17日(土) <2泊3日>

スタッフ 3名(板倉和也、谷野渉、増田航介)

③冬期事業事前準備

期日 11月7日(月)～9日(水) <2泊3日>

スタッフ 3名(板倉和也、谷野渉、増田航介)

イ. 施設修繕等

- ・ログハウス（集会棟）補修工事（5月）
- ・ふれあい荘ふすま張替工事（5月）
- ・ログハウス前碎石搬入、敷き込み（5月）
- ・全棟カメムシ駆除、ネズミ駆除（5月）
- ・電気設備工事（外灯、センター室内灯）（6月）
- ・トイレ修理及び貯水槽等清掃（6月）
- ・光回線工事（Wi-Fi開通）（10月）

(3) 寝具の整備

(株)ヨークベニマルからの紹介で西川(株)、アサギ(株)、(株)サンライジング、モリシタ(株)の4社から布団、シーツ、枕等を50組寄贈いただいた。

(4) 挨拶回り等

根岸所長が下記の日程で関係者等へ挨拶回りを行った。

①新年度挨拶回り：4月21日（木）～22日（金）

②水源地確認等：6月8日（水）～9日（木）

③年末挨拶回り：11月28日(月)～29日(火)

3. 修養団SYDビル

(1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

※新型コロナウイルスの影響により、ホール利用14回のキャンセルがあった

ア. SYDホール

回数 103回 (前年度71回)
利用者数 9,990名 (前年度5,440名)

イ. SYD会議室(16階)

回数 21回 (前年度32回)
利用者数 400名 (前年度620名)

(2) 施設の整備等

- ・ステージ及び演台修繕 (5月、7月)
- ・車椅子使用者ステージ登壇用ケアスロープ購入 (7月)
- ・プロジェクター及びピンスポットライト更新 (12月)
- ・屋外用スタンド看板更新、体温測定付きアルコール噴霧器購入 (12月)

4. 関西会館

- ・テナント (1階、2階部分) の適正管理をおこなった。

その他

IX. 関係機関・団体との協力活動

- ・6月15日 体験の風をおこそう運動推進委員会出席【真下】
- ・6月28日 社会教育団体振興協議会幹事会出席【御手洗、真下】
- ・11月2日 日本青年館財団設立100周年記念式典【御手洗】

X. 表彰

1. 第17回SYDボランティア奨励賞

(1) 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、キャンプ開催地県の小学校、全国の中・高・大学へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会等へ広報依頼をしたところ、全国28都道府県とアメリカから合計52件の応募があった。

(2) 選考委員会の開催

WEB会議とし、欠席の委員からは書面選考をお願いし、各賞の選考決定を行った。

開催日 12月20日(火) 13時～14時40分

会場 SYD会議室

出席者 リモート出席委員4名、内部選考委員2名 (御手洗理事長、山崎主幹)
事務局3名 (真下淳一、岩佐加寿子、山口千恵子)

文部科学大臣賞 1点

札幌市立宮の森中学校 科学部 科学工作ボランティア (北海道)

優 秀 賞 3点

【小・中学生の部】陸別町立陸別中学校 ボランティア部（北海道）

【高 校 生 の 部】福岡県公立古賀竟成館高等学校 家庭クラブ（福岡県）

【大学・一般の部】山口学芸大学 ボランティアサークル 子どもの木（山口県）

特 別 賞 1点

福島きずなプロジェクト 廣瀬はる（神奈川県）

(3) 贈呈式

3年ぶりに開催された贈呈式は、全国修養団運動推進会会議の中で開催され、受賞関係者の他、会議出席者が贈呈式に臨席した。

期 日 令和5年2月11日（土・祝）13時30分～15時

出席者 67名（受賞関係者17名、来賓2名、全国修養団運動推進会議出席者48名）

内 容 ①主催者挨拶：御手洗理事長 ②祝辞：文部科学省総合教育政策局地域学習推進課課長 黄地吉隆 ③選考経過報告：長沼豊 ④受賞者挨拶・活動報告：5団体

2. 令和4年度功労者表彰

〈敬称略〉

【名誉団員】5名（内追贈2名）

八城君子（北海道）、森田睦子（埼玉県）、下村祐毅（鹿児島県）

【追贈】菅野浩和（東京都）、坂野聖剛（ブラジル）

【蓮沼賞】3名

田口義全司（北海道）、伊藤孝行（千葉県）、宮崎興一（岡山県）

【表 彰】 団体：1団体 個人：6名

【感謝状】 団体：9団体 個人：10名

XI. 諸会議の開催等

1. 理事会

(1) 第1回理事会 ※WEB会議

期 日 5月17日（火）

出席者 理事：11名（内web出席1名）、監事：2名（内web出席1名）
山崎主幹

議 題 ア. 令和3年度事業報告について

イ. 令和3年度収支決算について

ウ. 理事の改選について

エ. 監事の改選について

オ. 書面理事会開催について

カ. 令和4年度上期慰労手当の支給について

キ. その他

・内閣府への事業報告等の提出について

・定時評議員会の開催について

・事業経過報告書（4～8月）の送付について

(2) 臨時理事会 ※書面理事会

期 日 5月30日(月)

出席者 理事：15名、監事：2名

議 題 理事長、専務理事、常務理事の選定について

(3) 第2回理事会 ※WEB会議とした

期 日 12月19日(月)

出席者 理事：13名（内web出席：1名）、監事：2名（内web出席：2名）
山崎主幹

議 題 ア. 令和5年度基本方針・事業計画大綱について

イ. 令和5年度予算大綱について

ウ. その他

・令和4年度功労者表彰について

・根岸専務理事の定年退職に伴う任期延長について

(4) 第3回理事会 ※WEB会議とした

期 日 令和5年3月22日(水)

出席者 理事：12名（内web出席：3名）、監事：2名（内web出席：2名）
山崎主幹

議 題 ア. 令和5年度事業計画について

イ. 令和5年度収支予算について

ウ. 定時評議員会の招集について

エ. 根岸専務理事の事務局長退任について

オ. その他

・愛知クラブ登録承認取消について

・中山貴生職員の退職について

・次回の理事会開催について

※事業経過報告書と収支月報の送付

10月3日付けで4～8月までの「事業経過報告書」と「収支月報」を理事・監事・評議員に送付した。

2. 第12回評議員会 ※WEB会議

期 日 6月3日(金)

出席評議員 9名（内web出席2名）

議 題 ア. 令和3年度事業報告並びに収支決算について

イ. 令和4年度事業計画並びに収支予算について

ウ. 令和5年度事業計画への要望について

エ. 理事・監事の選任について

オ. その他

・理事長・専務理事・常務理事の選任について

3. 後援会役員会

期 日 7月4日(月)

出席者 常任幹事: 6名 (笠原隆、新田一文、弘中聡、平岡真一、松崎毅、
柳井秀朗)

監 事: 1名 (新海一正)

修 養 団: 4名 (御手洗康、山崎一紀、根岸秋吉、岩佐加寿子)

議 題 ア. 令和3年度後援会事業報告・収支決算及び監査報告について

イ. 令和4年度後援会事業計画(案)並びに収支予算(案)について

ウ. 令和3年度修養団主要事業報告及び令和4年度主要事業計画について

4. 慶弔

(1) 文部科学省令和4年度社会教育功労者表彰受賞

本団より岡村精二理事を推薦したところ受賞が決定し、表彰式が行われた。

開催日 11月2日(水) 14時~14時30分

会 場 文部科学省東館第1講堂

出席者 岡村精二、岡村里美

(2) 物故団員・同志ご芳名

新潟県 市橋喬二 殿 4月14日 修養団新潟県連合会理事長

東京都 菅野浩和 殿 7月 6日 修養団ネイチャークラブ代表、元修養
団職員

ブラジル 桜井 仁 殿 令和5年3月 3日 修養団ブラジル連合会会長、名誉団員

東京都 黒羽亮一 殿 令和5年3月28日 学位授与機構名誉教授、修養団顧問

(2) 物故同志慰霊の集い

7月13日(水)、SYDビル会員ルームにおいて、物故された恩人・先輩・永生会
員・同志の慰霊祭を山崎主幹はじめ本部役職員により執り行った。

5. SYD将来計画プロジェクト「令和」

令和元年9月1日に職員4名で構成、スタート。10年後、20年後の社会を予測し
た上での今後のSYDの在り方(運動展開等)について具体的な事項も合わせて示す提言
を行うための準備をしている。

6. 講師研修会

〈別表-15〉

本団の教育理念および教育事業活動に関する研究・協議を行うとともに、講師相互の
研鑽ならびに資質向上を図ることをねらいとしてオンライン(Zoom)研修会を実施
した。

開催数 12回

7. 役職員の新型コロナウイルス感染防止対策

出勤による感染リスクを減らすため、週1日の在宅勤務日を行った。

8. その他

7月 1日 在団理事会

7月 4日 上期慰労手当支給(1.3か月分)

7月 8日 顧問・相談役に令和3年度の事業報告書を送付

10月19日 在団理事会開催

12月 2日 下期慰労手当支給（1.7か月）
令和5年2月22日 在団理事会

令和4年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年3月

公益財団法人 修養団

令和4年度 後援会活動報告

令和4年度の後援会活動は、コロナ禍のなか7月4日に開催された役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額12,000,000円の達成をめざして7月下旬より活動を開始しました。長引くコロナ禍による経済活動が落ち込む中においても、例年通り三菱グループ、三井グループ、住友グループ、日本製鉄、UBE、フジタ、キッコーマン、日立システムズ、北越コーポレーション、東芝等々法人会員96社、個人会員130名の方々の深いご理解と温かいご支援により、10,900,000円の会費収入を得る事ができました。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,563,043円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れさせていただきました。

令和4年度もコロナ禍のなか、修養団の諸事業は新型コロナウイルスの影響を受け、多くの事業は中止となりましたが、対策を講じ、参加者の安全を確保しながら幾つかの事業を再開することができました。また引き続きオンライン講演会等を実施し、日本全国そしてまた海外からの参加もあり、今まで修養団を知らなかった方にも「愛と汗」の精神を広げることができました。

ここに謹んで後援会役員をはじめ全国の法人会員、個人会員の皆様の貴いご支援、ご協力に対し、心より感謝を申し上げます。

1. 会員移動状況

(1) 新入会員 〈法人会員 2団体、個人会員 6名〉

(千葉県) 医療法人社団湖仁会 (岐阜県) 有限会社あきエコ

(埼玉県) 清家慎一 (東京都) 岡浩之、越後屋まなみ、竹林円満、三橋敏武、中村潤

(2) 退会会員 〈個人会員 2名〉

(東京都) 栗山義広 (埼玉県) 金子俊太

(3) 逝去会員 〈個人会員 1名〉

(滋賀県) 鈴木利幸

2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉

法人会費 10,000,000円

個人会費 2,000,000円

合計 12,000,000円

〈募金実績〉

法人会費 9,550,000円(96社)

個人会費 1,350,000円(130名)

合計 10,900,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

7月4日に開催された後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、7月下旬より募金活動を開始。令和4年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛に発送した。

イ. 訪問活動

7月下旬に関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼とご協力のお願いをした。

3. 広報活動

- (1) 修養団機関誌『向上』6月号に令和3年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に令和4年度のお願いをした。
- (2) 『向上』(令和4年度5月号より1年間)及び令和5年版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

- (1) 役員会 (3年ぶりに対面による役員会を開催した)

開催日 7月4日(月) 11時～13時

出席者 常任幹事：笠原隆、新田一文、平岡真一、弘中聡、松崎毅、柳井秀朗
監 事：新海一正

議 事 ア. 令和3年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について
イ. 令和4年度後援会事業計画(案)及び収支予算(案)について
ウ. 令和3年度修養団主要事業報告並びに令和4年度修養団主要事業計画について

5. 収支報告 (4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

貸方(支出)	科目	借方(収入)	前年度(収入)
	会費収入(法人)	9,550,000(96社)	9,060,000(96社)
	〃(個人)	1,350,000(130名)	1,320,000(132名)
10,563,043	修養団後援金		
21,346	旅 費		
6,363	印 刷 費		
75,677	通 信 運 搬 費		
187,600	消 耗 品 費		
31,434	会 議 費		
14,537	雑 費		
10,900,000	合 計	10,900,000	10,380,000